

大阪府箕面市における 地デジ説明会について

平成 21 年 4 月

箕面市長 倉 田 哲 郎

1. これまでの取り組み

1. 準備段階（2 - 3月）

市の関係部門での打ち合わせを経て、民生委員児童委員協議会役員会、自治会、箕面市ケアマネージャー連絡会に対し、協力等を要請

2. 説明会を実施（3月～）

- 3月16日 稲東自治会説明・相談会 50名参加
- 3月19日 箕面市老人福祉センター「松寿荘」で説明会 65人参加
- 4月18日 聴覚障害者団体への説明会：聴覚障害者のための手話通訳及び要約筆記による説明会 20人参加

3. 今後の予定

5月 市内全小学校区（13カ所）の集会所（コミュニティセンター）で地デジ説明会
地域のイベント（箕面まつり）での地デジ相談（7月）

2. 取り組んで見えてきたこと / 地デジに関する誤解と関心

1. 多かった誤解

(アンテナとチューナーとテレビの各機能のわかりづらさ)

地デジ対応テレビを買うだけで対応できるという誤解
アンテナも地デジに対応していることが必要。

チューナーを必ず買わないと見るができないという誤解
テレビとチューナーの関係がわかりにくい。
今販売されているテレビはすべて地デジ対応なので、テレビを買い替えるだけでよい。
手持ちのアナログテレビを使いたい時にはチューナーが必要。

2 関心の高い相談

実際に自分の家で地デジ対応するのにいくらかかるの？
やはりお金がかかる事柄である。

一番有利な購入時期はいつ？
2011年7月までまだ時間があり、製品の開発改良と低価格化も進む中でタイミングを見計らいたい。

3. 取り組んで見えてきたこと / 説明会実施に当たっての課題

1. 市の広報誌などによる全市民への説明会の周知

障害者団体など当事者のネットワークに依存するだけでは限界がある。
(広報紙などによる幅広い説明会周知の必要性)

2. 説明相手に応じた説明手法の採用

高齢者であれば、コンパクトに要点のみ

- * 長くて難しいと疲れる。
- * 地域の中継局の事情などはどうでもいい。

聴覚障害者であれば、手話通訳と要約筆記

- * 具体に実施した中で、手法の改善の提案意見もあった。
「手話と要約筆記と説明画面と実物のテレビ画面を交互に目だけで追うのは大変。一つの画面にまとめたビデオ教材にできないか。」

外国人に対する多言語による説明会

- * 国のパンフレットは4言語のみ(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)

3. 関係課の協力連携

地デジの担当課と説明会対象市民(障害者、高齢者、自治会等)の担当課の協力連携があってデジサポと参加者の円滑な意思疎通が成り立つ。

内容によっては事前の下見や打ち合わせも必要なケースもある。

4 . 今後の課題

1 . 訪問相談に向けて民生委員の協力体制の確保

訪問相談の根拠となる国の依頼文書等がある方がベター

2 . 訪問相談の際の日常的なサービス提供者の同伴の確保

相談者が信頼する日常的なサービス提供者（家族、民生委員、ホームヘルパーなど）の同伴がないと相談自体が成立しない。

上のケースで、日常的なサービス提供者がホームヘルパーの場合、その同行費用の負担ルールが必要である。

3 . 顔の見える相談相手（自治会役員や民生委員など）や「地デジボランティア」の育成

説明だけではなく、自宅で必要な機器を購入して設定作業を行って地デジ番組をみることでサポートが必要。有償ボランティア制度なども有効では。

4 . TVチューナー無償給付を巡って

地域で具体的に訪問相談を行った際には、テレビチューナー無償給付の可能性が話題になることがある。

実施するなら支給要件（いつの時点で何に該当することがいいのか）を早急に確定することで訪問相談の実が一層あがる場合もある。

給付に必要な要件によっては、個人情報についての自治体の関与なども含めて、全国统一の個人情報提供基準の策定なども必要では。

テレビチューナーを無償給付する事業者と当該個人を取り結ぶことができる事業スキームが必要である。

5 . ねばり強い継続的な事業展開の必要性

民生委員、ケアマネージャー等のネットワークは非常に有用であるが、網羅性を担保するものではない。

本市の場合6 - 7月を地デジ集中対策の期間としているが、相談等が漏れたケースについてはそれ以後の対応も随時必要となる。

5 . その他

1 . 共聴施設についての早期の情報提供

アナログ放送時のビル影共聴施設についての相談を多数受ける。

* 次の2段階で考えるべきだが、 をとばして だけの紛争になっている。

) デジタル化後もなお難視聴地域になるかどうか？

) 難視聴地域になるならば、誰の負担でどう対応するか？

早期に (デジタル化による放送受信可能地域) についての正確な情報提供が必要である。

2 . 市町村の関わりかた

多くの市町村は、地デジ対策への関わり方に困惑している。

* 国から「地デジ対策」への協力を求められても、「何をしていいのかわからない」「負担が増えるのでは」「お金は出せない」との警戒感から腰が引けているのが現状である。

* 一方、市町村の窓口や議会でも、「どうしたらいいのか?」「何か対応してくれないのか?」と対策を求める声があり、なんらかの対応をしなくてはと感じる側面もある。

箕面市の説明会のように、地域の団体・住民と国を“つなぐ”ことが市町村の仕事であり、説明などの負担は国や放送事業者が担うと理解できれば、協力自治体が増えるのでは？

3 . その他説明会で得られる知見

聴覚障害者の説明会で、デジタル放送の字幕の位置について、次のような意見があった。

* デジタル放送の字幕の位置について、放送のテロップなどに配慮しているせいか、字幕が中央にずれて出演者の顔を隠してしまうケースが多々ある。表情とリップ(唇)が読めないのではなんとかしてほしい。」

このように、実際の説明会の中で得られる知見は大きいと思うので、放送事業者、メーカーほか関係者の方々は真摯に受け止め、活かしていただきたい。



写真
稲東自治会説明・相談会
(3月16日)

写真
箕面市老人福祉センター
「松寿荘」で説明会
(3月19日)



写真
聴覚障害者のための
手話通訳及び要約筆記
による説明会
(4月18日)

地デジ普及へ説明会

箕面背景に低い認知度

平成23年の地上デジタル放送(地デジ)への完全移行に向け、総務省が全国に先駆け、大阪府箕面市で高齢者や障害者を対象にした説明会や戸別訪問を展開している。背景には、同年7月にアナログ放送が完全に終了することを約2割の人が認識していないなど、普及が進んでいない現状がある。特に高齢者や障害者世帯は対応が遅れると予想されており、総務省は同市の事例を検証して報告書にまとめ、6月から全国で行う普及活動に役立てる。

聴覚障害者向けに行われた地上デジタル放送の説明会。手話による通訳が行われた
＝18日午後3時37分、大阪府箕面市(塚本健一撮影)



「放送局の人間をかたってお金を取ろうとする詐欺に注意してください」。18日、同市内で聴覚障害者を対象に開かれた説明会。担当職員は手話通訳と要約筆記を付け、受信方法や悪質商法への対応を伝えた。必要な機器名などの耳慣れない用語を聴覚障害者に正確

地上デジタル放送への移行 平成23年7月24日にアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に完全に移行する。チャンネル数を減らし、空いた周波数を他の用途へ有効利用することが目的で、視聴者にはテレビの画質・音質の向上のほか、双方向サービスなどが提供される。受信には対応テレビの購入や、アナログテレビに地上デジタルチューナーや、地上デジタルチューナー内蔵録画機器を接続することなどが必要。放送局や工事関係者を名乗った不正請求や、必要のない商品を売りつける悪徳商法被害も発生している。

に伝えるためだったが、市聴覚障害者協会の赤塚光昭さん(64)は「手話と映像と要約筆記を交互に目で追うのが大変だった。目だけが頼りなので、もう少し話をまとめる工夫があれば」と提案した。

総務省によると、1月時点で地デジ対応テレビ・チューナーの世帯普及率は49・1%、23年にアナログ放送が終了することを知っている人は77・8%。総務省は各都道府県に設置した「テレビ受信者支援センター」を拠点として6月から本格的な普及活動に乗り出す予定で、協力を承じた箕面市で2月から普及活動を先行実施してきた。

突然出向けば不審者扱いされる可能性もあるため、箕面市では地域の民生委員や自治会などに協力を求めた。ただ、誰が協力してくれそうか、地域の実情を把握するだけでも予想以上に時間がかかることが判明。地域の支援を求めることの難しさが浮かび上がった。

また、18日の説明会に集まったのは聴覚障害者の一部。今後はもっと多くの人

参加意欲をどう高めていくかも課題としてあがった。総務省は同市での事例を報告書にまとめる予定。

お近くの会場にお越しください。

箕面市

地デジ説明会 会場一覧

それぞれの説明会では、可能な限り個別の相談にも応じます。

| 会場 | 住所 | 開催日 | 開始時刻 |
|------------------|--------------|----------|--------|
| とどろみの森学園 | 森町中1-23-14 | 5月9日(土) | 10:30～ |
| コミュニティセンター箕面小会館 | 百楽荘1-9-13 | 5月11日(月) | 19:00～ |
| コミュニティセンター中小会館 | 稲1-14-5 | 5月12日(火) | 19:00～ |
| コミュニティセンター豊川北小会館 | 粟生間谷西3-10-35 | 5月15日(金) | 19:00～ |
| コミュニティセンター西南小会館 | 半町3-15-4 | 5月16日(土) | 14:00～ |
| コミュニティセンター萱野小会館 | 船場西1-11-44 | 5月17日(日) | 14:00～ |
| コミュニティセンター北小会館 | 箕面3-9-11 | 5月18日(月) | 19:00～ |
| コミュニティセンター萱野東小会館 | 石丸2-4-15 | 5月19日(火) | 19:00～ |
| コミュニティセンター東小会館 | 粟生間谷西1-2-2 | 5月23日(土) | 14:00～ |
| コミュニティセンター南小会館 | 桜井1-1-15 | 5月25日(月) | 19:00～ |
| コミュニティセンター萱野北小会館 | 如意谷2-10-45 | 5月28日(木) | 19:00～ |
| コミュニティセンター豊川南小会館 | 小野原東3-1-31 | 5月29日(金) | 19:00～ |
| コミュニティセンター西小会館 | 新稲4-11-14 | 5月30日(土) | 14:00～ |

※事前の申込みは必要ありません。当日は先着順となります。
それぞれ定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。

総務省 大阪府テレビ受信者支援センター(デジサポ大阪)

☎06-6944-9900 ■ 平日:午前10時～午後6時まで

お近くの会場にお越しください。

箕面市 地デジ説明会 会場一覧

それぞれの説明会では、可能な限り個別の相談にも応じます。

地上デジタル放送を楽しむための総務省による説明会(無料)を開催します。ぜひご参加ください。

今、また新しいテレビの時代がやって来ます。

総務省 大阪府テレビ受信者支援センター(デジサポ大阪)

☎4-9900 ■ 平日:午前10時～午後6時まで

テレビ放送は今、大きな進化の時代を迎えています!

新しい時代のテレビ放送を体験しに来ませんか?

地上デジタル放送のメリット

- 1. デジタル放送の画質の向上、音の向上
- 2. デジタル放送の録画機能、録画の自由
- 3. デジタル放送の録画機能、録画の自由
- 4. デジタル放送の録画機能、録画の自由

どうしてデジタル放送に覚える必要があるのでしょうか?

総務省 大阪府テレビ受信者支援センター(デジサポ大阪)

総務省東京都中央テレビ受信者支援センター(デジサポ東京中央)作成パンフレット